学習内容報告書 フォーマット

学校名	那智勝浦町立宇久井中学校
授業者	2 年生担任、2 年生副担任

1.　単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1.　単元名

漁業学習

1-2.　学年

2 年生

1-3.　教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4.　単元の概要

　宇久井は昔から漁業が盛んな町である。本校では、２年生で漁師さんによる講話や漁船体験をふまえて自分たちの住んでいる地域の漁業について学ぶ機会をとっている。

　そこで今回、実際に漁師さんを講師として招き、宇久井で行われている漁法や捕れる魚の種類・料理法を知り、海の恵みと共に海を大切にしてきた地域の文化や人々の苦労を知り、地域の人々への感謝の気持ちや尊敬の念を持たせ、地域に貢献していこうとする心を育成する。

1-5.　単元設定の理由・ねらい

・宇久井漁業協同組合の皆様から地元の漁業について聞き取り、地域の漁業について知る。
・漁業を視点に自然や環境、歴史や資源など地域の特性を知る。
・調査活動を通して、仲間や地域の方と交流する。

1-6.　育みたい資質や能力、態度

・課題を設定し、主体的・協働的に探求する力
・様々な情報を活用し、それらの情報をまとめ・表現する力

1-7.　単元の展開（全 7 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	・漁業学習の概要や目的を知る。 ・5 つの班に分かれ、講師さんへの質問内容を考える。	・漁業学習の実施要項を配布し、説明する。 ・漁業学習を行う目的を把握させる。 ・地元の漁業について気になることを考えさせる。
1	・講師さんへの質問の練習を行う。 ・5 つの班に分かれ、ポスターの構成を考える。	・丁寧な質問の仕方について指導する。 ・ポスターを作成するにあたって、文字の大きさや記入内容等を説明する。
1	・地元の漁師さんの講話を聞き、宇久井の漁法や捕れる魚などを知る。 ・漁師さんの仕事内容を聞き、働くことの楽しさや苦しさなどを学ぶ。	・地元の漁師さんによる講話。 ・生徒用のメモ用紙を準備し、配布する。
1	・講師さんへのお礼状を作成する。 ・学習の振り返りを記入する。 ・ポスターの下書きを行う。	・講師さんに対する感謝の気持ちや学んだことなどを記入させる。
2	・ポスターを作成する。	・宇久井の漁法、捕れる魚、鯨、漁師さんの仕事、宇久井漁業協同組合、この５つテーマを各班で１つずつ選び、ポスターを作成させる。 ・見る人の事を考えて、文字の見やすさや内容の分かりやすさなどに気をつけて作成するよう指導する。
1	・完成したポスターをもとに発表する。	・前を見てハキハキと話すよう指導する。

2.　学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1.　単元における位置づけ

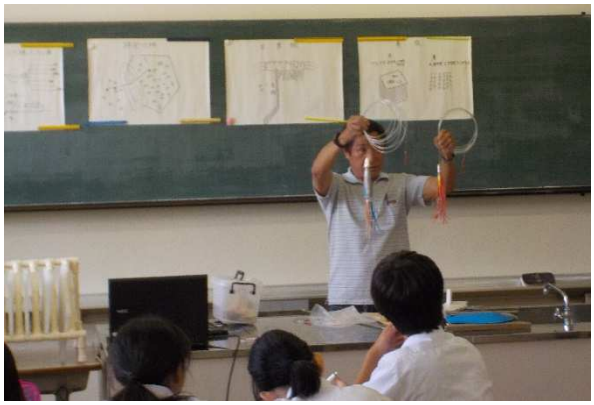
単元　7　時間中の　3, 4, 5　時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/　単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2.　本時の目標

地元の漁師さんの講話を聞き、宇久井の漁法や捕れる魚、そして漁師として働く人々の様子を知り、海の恵みと共に海を大切にしてきた地域の文化や人々の苦労を知る。

2-3.　本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
１、宇久井の漁業についての説明 ①宇久井ではどのような漁法をとっているのか。 〈反応〉漁法は、捕る魚や季節によって異なるということを学ぶことが出来た。 ②宇久井でよく捕れる魚は何か。 〈反応〉主に鰹や鰤がよく捕れ、現在は少ないが、昔は１日に約５０トンの魚を捕ることが出来ていたということを知った。 ③仕事の中でやりがいを感じる時はいつか。 〈反応〉漁をする中で、豊漁の時にやりがいを感じるということを教えていただいた。	・適宜メモを取らせる。 
２、鯨についての説明 ①鯨の餌は何か。 〈反応〉イカやエビ、イワシなどを餌にしている事を知った。 ②鯨をどのように捕っているのか。 〈反応〉鉄砲を用いて捕っているが、捕るには許可がいることを知った。 ③鯨とイルカの違いは何か。 〈反応〉イルカも鯨の一種であるため、明確に区別することは難しいが、長さによって鯨とイルカを分類することがあると教えて頂いた。	

３、講師さんへの質問 （内容）宇久井漁法や漁業協同組合について 〈反応〉自分たちの質問に対して、詳しく説明して頂けたので、宇久井の漁業についてより深く知ることが出来た。	（評価）・質問などでより理解しようとしたか。 ・積極的にメモや記録をとっていたか。 ・メモや記録の内容が事後の学習に役立てるものになっているか。

3.　今回の活動の自己評価

今回の講師さんからの講話を聞いて、自分たちの住んでいる宇久井は、昔から漁業が盛んで今もその伝統が受け継がれているということを知ることが出来た。

また、普段目にしないような漁の際に用いる道具を間近で見せて頂いたり、漁法のしくみを書いた絵を用いて漁法を説明して頂いたので、とても興味を持って話を聞かせて頂くことが出来た。その様なことから、今回の学習は生徒にとって、普段の授業では学べないことを学習できた貴重な時間になったと考えられる。

4.　今後の課題

学校での授業だけでなく、地域の方々と交流していくことで、自分たちの地元の自然や歴史を詳しく知ることが出来るということを今回の学習において認識することが出来た。

さらに、地域の方々からの学びは、新しい発見や疑問を生んだり、地元への愛着を抱かせる機会にもなるということを感じた。今後の課題として、今までたくさんの事を地域の方々から学んできたので、これからは、自分たちが地元の伝統を受け継ぎ、より多くの人に地元の歴史や良さを広めていき、よりよい地域づくりや更なる発展に貢献できる人材となっていくことが課題として挙げられる。

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。